

第 **10** 位  
16745 P  
NEW

# 競走馬としても父としても超一流 キタサンブラック

競馬を見ない人たちにも知られていた「サブちゃん」の馬

天皇賞3勝(春2勝、秋1勝)など17勝。獲得賞金18億7684万3000円は国内のレースだけでは歴代1位である。それだけでも歴史的なスーパーホースとして語り継がれていく馬なのだが、それに加えて、キタサンブラックには馬主が歌手の北島三郎さんという、ほかの名馬にはないプロフイ

ールがあった。

普段競馬を見ない人たちにも「サブちゃん」は知られていた。GIに勝ったあと北島さんが「まつり」を歌うたびに、キタサンブラックはニュースになった。スポーツニュースではない。一般のニュースである。三冠馬でも、どれだけ賞金を稼いでも、海外のGIに勝っても、キタサンブラックのように話題になる馬はいなかった。さらに、キタサンブラックは種牡馬

になってからも人々を驚かせている。

中長距離で活躍した馬ということ、種牡馬として疑問視する人もいたなかで(恥ずかしながら、わたしもそのひとりだった)、1年めからイクイノックスという名馬を送りだし、短距離でもダートでも障害でも重賞勝ち馬をだしている。キタサンブラックに携わった人たちは「オールラウンダー」「総合力の高い馬」と口を揃え、武豊騎手も「安田記念を追い込んで勝つイメージ

がある」とまで語っていたが、万能のランナーがそのまま万能の種牡馬になったわけだ。いまになって思えば、菊花賞の前に取り沙汰された母の父サクラバクシンオーの存在も大きい。サクラバクシンオーの主戦騎手だった小島太さんは「体の薄さや、横から見た感じがよく似ている」と評し、社台スタリオンステーションの徳武英介さんも「なんだかんと言っ、バクシンオー。本人が扱いやすい」と言う。

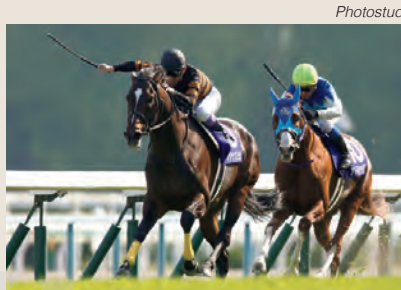
この夏も、才能豊かな2歳馬がデビューし、仔馬が高値で取引されているキタサンブラックを「未来に語り継ぐ」にはまだ早い。わたしたちはキタサンブラックをとおして「日本競馬の未来」を想像しはじめたばかりだ。

## KITASAN BLACK's Impressive Scenes



距離不安説を一掃。初のGI制覇  
2015年 菊花賞(GI)

道中中団から直線で抜け出すと、最後は迫る後続を凌ぎ勝利。血統背景から「距離不安」も囁かれていたが、それを覆す結果となった



ディープを超える記録で連覇達成  
2017年 天皇賞(春)(GI)

2番手追走から勝負所で早めに抜け出しそのまま勝利。ディープインパクトがマークした従来の記録を更新し、前年に続く連覇を飾った



泥だらけの「最遅」決着  
2017年 天皇賞(秋)(GI)

不良馬場の中、スタートで出遅れるも、直線内から進出。最後は後続の猛追を振り切り、現条件になってから最も遅いタイムで勝利した

### 年代別・性別ランキング

世代・性別問わず  
広く愛される

- 10代……10位
- 20代……9位
- 30代……9位
- 40代……10位
- 50代……11位
- 60代……14位
- 70代……13位
- 男性……10位
- 女性……11位

### Voter's Voice

競走馬としても、種牡馬としても非凡な才能を持つ超一流馬(50代・男性)●最後のレースは漢の背中を見せてもらい、うつくしい有終の美でした(30代・女性)●王道をひた走り、速い馬場も重い馬場も力強く駆けゴールする姿に胸が熱くなりました(30代・女性)●有名なオーナーということでそちらが話題になることも多かったですが、それだけではない強さ、タフさ、泥臭さが好きでした(40代・女性)



2012年3月10日生 牡 鹿毛  
父ブラックタイド  
母シュガーハート(父サクラバクシンオー)  
馬主/街大野商事  
調教師/清水久詞(栗東)  
生産牧場/ヤナガワ牧場  
通算成績/20戦12勝  
総取得賞金/18億7684万3000円  
主な勝ち鞍/17有馬記念(GI)  
17天皇賞(秋)(GI)  
16・17天皇賞(春)(GI)  
17大阪杯(GI)  
16ジャパンC(GI)  
15菊花賞(GI)  
16京都大賞典(GII)  
15セントライト記念(GII)  
15スプリングS(GII)  
馬名の由来/冠名+父名の一部